



小郡市立三国中学校だより

啐啄同時

令和5年11月15日

第11号

校長 山本 拓

「すべての子どもたちの教育条件整備に関する署名活動、誠にありがとうございました！」
～小郡市全体で約25,000、三国中校区で7,380の署名にご協力いただきました～

9月30日(土)から10月20日(金)まで各地域で教育条件整備のための署名活動にご協力いただき、三国中校区で7,380名の方々に署名していただきました。大変お忙しい中、地域代表委員さんを中心にみなさんに取り組んでいただいたことに感謝しております。

ご協力いただいた署名を①学習指導・生徒指導・進路指導に係る加配教員の配置、②試験前チューターなどの学び場支援事業の充実、③養護教諭の複数継続配置、④給付型奨学金・支度金制度の改善と充実の要求のために小郡市教育委員会と福岡県教育委員会へ要望していきます。



学習会でいただいたご意見やアンケートでいただいたご意見は、小郡市人権・同和教育研究協議会へ担当校を通じて確実に伝えており、今後の署名活動についての話し合いが行われているところです。

みなさまのご協力に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

「11月17日(金)人権学習授業参観・学級懇談会」～みなさまのご参観をお待ちしています～

11月17日(金)14時15分より人権学習の授業参観と学級懇談会を行います。申し込みはすでに終わっていますが、申し込みをされていない方でご都合がつく方がいらっしゃいましたらお子さまを通じてか直接お電話で担任か管理職までご連絡ください。たくさんの参観をお待ちしています。当日の各学年の人権学習のねらいは、下記のとおりです。



学年	授業内容	授業のねらい
1年生	身の回りの差別と部落問題について考える	吉田一子さんの生き方に学ぶ(識字学級) 吉田一子さんが識字学級と出会い、文字を獲得していく姿から、吉田一子さんの学ぶ思いを深く考えるとともに、私たちが学ぶ意義について考える。
2年生	歴史の中でつくられてきた部落差別を考える	解放令後の人々の生活や意識 解放令によって、制度としての差別はなくなったものの、厳しい差別が残ったままであり差別は人の心の問題であることに気づき、差別をなくしていく認識を高める。
3年生	差別をなくそうとする生き方に学ぶ	社用紙から就職差別を見抜く 社用紙の質問項目のおかしさについて考え、その不合理さや不都合さに気づく力をつける。

○三国中学校人権学習授業参観・学級懇談会 11月17日(金)

5校時 14:15～15:05 人権学習授業参観(各教室)

6校時 15:15～16:00 学級懇談会

「第34回 野田宇太郎生誕祭」～献詩入賞 おめでとうございます！～

10月29日(日)に第34回野田宇太郎生誕祭が、松崎桜馬場の「水鳥」詩碑前で盛大に行われました。本校からは、5人の子どもたちが入選し、表彰式に参加しました。一人一人の詩を読ませていただきましたが、どの詩も様々な体験を通して考えを深め、すばらしい表現がされていました。入賞者は、以下のとおりです。



- 一席 3年 見好 陽羽 さん
- 二席 2年 松井 ひろの さん
- 三席 3年 鳴海 咲希 さん 3年 山下 優希 さん
- 1年 見野 こずえ さん

「おごおりっ子からのメッセージ」 ～発表、司会、演奏で大活躍～



11月5日(日)に小郡市文化会館大ホールでおごおりっ子からのメッセージが行われ、発表者として1年生の内川遥翔さんが「言葉のもつ力」という題名で出場しました。内容、発表態度ともにすばらしくて会場の人たちは感動していました。また、全体の司会者として3年生の吉岡真央さん、2年生の旭田恵彩さんが大変聞き取りやすい落ち着いたアナウンスで全体の

進行をしてくれました。また、40周年記念行事の中で吹奏楽部のみなさんが力のこもった演奏を披露してくれて会場内を盛り上げてくれました。内川遥翔さんの発表作文の一部を紹介します。

1年生 内川遥翔さん 「言葉のもつ力」 一部抜粋

人間が作った言葉は、相手との関係を深めたり、相手を前向きにしたり、相手を元気にしたりと、すごい力をもっています。でも、相手を傷つけたり不快にさせたりとよくない力もあるので、僕は、言葉の使い方には十分に気をつけないといけないと思っています。

僕は、「言葉のもつ力」はすごく、人間関係をよりよくしたり社会を明るくしたりするために大きな影響力をもつものだと思います。だから、僕は言葉や「言葉のもつ力」についてもっと勉強していきたいと思っています。皆さんも、「言葉のもつ力」について考え、互いの人間関係をよりよくする使い方に挑戦してみてはいかがでしょうか。

「研究発表会開催」 ～笑顔あふれる「三国の里」の創造～

三国中学校は、令和4・5年度小郡市・三井郡学校保健会・学校給食会研究指定・委嘱を受け、11月6日(月)に研究発表会を行いました。研究主題を『笑顔あふれる「三国の里」の創造』、副主題を「生徒のよさを認める解決志向アプローチを通して」として、研究主任の和足先生が全体説明を行い、山口先生、田中聡之先生、松元先生、木村先生、梅寄先生、猪原先生、内田先生に授業を公開してもらい、小郡市、大刀洗町、久留米市のたくさんの先生方やPTAの方々に参観していただきました。子どもたちの生き生きした姿を観られて、多くのお褒めの言葉をいただきました。発表会当日はもちろん、事前準備や後片付けまで三国中の先生方全員で様々な場面で、協力し助け合いながら発表会を終えることができました。

また、当日は研究についてこれまでご指導・ご助言をいただいた松本一郎先生(元岡山県倉敷市立西中学校校長、現岡山理科大学)にご講演をいただき、本当に勉強になる発表会となりました。



松本一郎先生

「文化部・運動部の活躍」 ～それぞれの場で堂々と～



11月3日(金)に地区新人大会が行われ、本校から男子剣道部、女子バスケットボール部が三井郡・小郡市・うきは市の代表として参加し、夏の大会につながるファイトある試合をしました。

また、11月11日(土)に行われた北筑後英語スピーチコンテストに英語読書部3年生の藤嶋ことみさんが小郡市・三井郡の代表として出場し、堂々と落ち着いたスピーチを披露してくれました。

11月12日(日)には、新体操の県新人大会が行われ、2年生の原口桃子さんが地区代表として出場し、フープの部準優勝、リボンの部準優勝、個人総合準優勝というすばらしい成績を残しました。みなさん大変おつかれさまでした。11月18日(土)は、女子卓球部が地区新人大会に出場します。健闘をお祈りします。